

ひくまの : 浜松医科大学附属図書館報. No. 65

メタデータ	言語: jpn 出版者: 浜松医科大学附属図書館 公開日: 2015-04-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 図書館報編集委員会 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/2802

ひくまの

Hamamatsu University School of Medicine Library Bulletin “Hikumano” No.65 Mar, 2015

話せる。閃めく。発表する。

ラーニングコモンズ 特集



2014年4月に完成したラーニングコモンズ。大勢で集まって議論したり、発表したりと様々なことができる場所です。静かな図書館とは一味違う、活気にあふれた図書館をご紹介します！

ラーニングコモンズではこんなことができるのです！

その1 グループで勉強

ラーニングコモンズは会話可能なスペースとなっており、グループでの学習が可能です。可動式の机を使ってグループの人数に合わせてレイアウトを変更したり、壁面のホワイトボードを使って意見をまとめたりすることができ、多人数学習に適した環境が整っています。



ホワイトボード用のマーカー等を貸出しています！ご希望の方はカウンターまで

また、ディスカッションやディベート等の議論を進める中で新たな疑問が浮かんだ時には、周りの図書やパソコンで調べることができるという図書館ならではの強みがあります。

友だちを誘って、ラーニングコモンズで一緒に勉強してみませんか？

ラーニングコモンズで出来るあれこれ!



その2 プレゼン発表

ラーニングコモンズでは、プレゼンなどの発表ができるようなスペースが設けられています。オープンな空間で発表を行うことができ、ラーニングコモンズを通じて同じことに興味を持つ人同士と知り合う機会が持てるかもしれません。

また、プロジェクターやスクリーン、レーザーポインタなどの貸出をしています。ご希望の方はカウンターまでお越しください。

その3 ポスター発表

ラーニングコモンズに設置されているピクチャーレールを利用して、ポスター発表を行うことができます。天井からポスターを吊り下げ、展示することが可能です。

学会などで行われるポスター発表をラーニングコモンズで体験してみませんか?興味を持たれた方は、図書館カウンターへご相談ください。



●番外編

『サイエンスのつどい』 やっています!

『サイエンスのつどい』とは、本学教員が普段研究されている事例や関心のある事柄を初心者にも分かりやすくお話しいただき、興味を深めるサイエンスカフェのことです。1時間程度のパワーポイントを使った説明後、講演者との歓談の場が設けられています。そこでは、椅子を寄せ合い、普段お話しできない講演者へ気軽に質問することができます。



講演者の研究に対する熱い思いをお聴きしたり、話を聞いて生まれた疑問をその場で解説いただいたり、いろいろな分野とお近づきになれるチャンスです。ぜひ一度、『サイエンスのつどい』に足を運んでみてください。

サイエンスのつどい

- 浜松医科大学 学生・教職員なら誰でも参加 OK !
- お茶などを飲みながら、ゆったりお話を聴けます!
- ◆ 開催予定は図書館ホームページ「お知らせ」に掲載します

蓋付き容器に入った
お茶・水は
館内持込み OK !



他大学のラーニングコモンズも
覗いてみよう!
【見学に行ってきました!】

同志社大学

国内大学最大級のラーニングコモンズ。ディスカッションできるスペースはもちろん、多人数相手のプレゼンが行えるスペースや留学相談やポスター印刷ができるコーナーが備えられています。



図書館報『ひくまの』ってご存知でしたか？



図書館長 針山 孝彦

読者に、題名のような質問は愚問かもしませんが…。今は便利になりました。ネットの検索で『ひくまの』と入れると『**曳馬野**』と出てきます。どうもこのあたりの地名らしく、万葉集にもその名が使われているらしい。近くの料理店の名前や、かつての駅名に使われていることもわかりました。ついでに、『ひくまの 図書館』と検索すれば、平成8年からの歴代の刊行物を一気に読むことができます。図書館のホームページから入ることができる本学リポジトリの一つです。

リポジトリ (repository) という単語を強く意識するようになったのは、昨年の4月に図書館長の任についてからです。数年前、国内の学会誌の編集委員長をやっていたときに、JST (科学技術振興機構) から「希望すれば学会誌をリポジトリ化します」とお話をいただき、煩雑な作業のお手伝いをしたことがあります。その時は昔の論文が電子化されて簡単に読むことができ便利だなあ、国の機関はこんなことをしてくれて親切だなあと思う程度でした。現在ではJ-STAGEと呼ばれる仕組みがしっかりとて、登録した学会誌の情報は簡便に電子化されて配信されるようになっていきます。

リポジトリとは情報工学で貯蔵庫を意味しますから、機関リポジトリとは、大学や研究機関が知的生産物を電子媒体で集積・保存そして公開するものです。浜松医科大学学術機関リポジトリでは、「学内で生産される教育・研究・診療の成果等」を電子的に蓄積保存し、インターネットを通じて公開するためのインターネット上の発信拠点です」と規定しています。これは便利です。すべての本学の知的財産を、**浜松医科大学学術機関リポジトリ**に入れてしまえば、誰が何をやってどのような知的貢献を成し遂げたかを簡単に知ることができます。どしどしリポジトリを利用すればいいじゃないか。ところが、そうは問屋が卸しません、

先生方の知的財産の多くは著作権が

あり、その著作権は掲載されるたびに雑誌社に委譲させられます。雑誌社はインパクトファクタ (IF) に象徴される雑誌のデリバリー度や注目度の高さを売りに、世界中の研究者を縛っているのです。今のところ機関リポジトリではIFは0であるし、そこに情報を載せても注目されるまでに時間がかかってしまうので、競争原理のもと雑誌社の思う壺になってしまっています。大学は、電子ジャーナルを購入することにならざるを得ません。

なんと、円安と雑誌自体の値上がり、そして今回は回避されましたが今回の消費税増税と現在非課税の海外電子ジャーナル課税化の動きが、電子ジャーナルの購入問題を直接引き起こしています。

電子ジャーナルは、機関リポジトリと同様に電子媒体で簡単に手に入りますが、**大学経費を拠出して購入**しているのです。皆様がお使いの電子ジャーナルの総額は、もうすぐ一年あたり1億円を超える勢いです。浜松医大の千人強の職員全員が電子ジャーナルを利用したとしたら、一人あたり年間10万円程度の経費ともいえますが、日常的に電子ジャーナルを必要とする教職員で割るとかなり高がついていることは想像に難くないと思います。今後このまま購読を続けるべきか、続けて良いのかどうか判断が迫られるようになります。ない袖は振れないので、購読の継続が困難になることは目に見えています。電子ジャーナルの購読を別の方法で簡便に行うのに **ResearchGate** に習熟することも一つの方法かもしれません。ResearchGateは、研究者向けのFacebookのようなソーシャルネットワークサービスで、原著論文の共有や質問・回答、協力者の募集などもできます。簡便な分、返事を迫られるような面倒なことが起こることもあります。

このような情報世界の発展により、科学の成長のために、もしかしたらIF

も出版社もいらぬ時代がすぐそこにきているのかもしれませんが、今は、なんとか情報提供のサービスが滞らないように図書館員一同、汗を流しています。

実は、図書館は他にも大きく変わりつつあるのです。機関リポジトリや蔵書といった「知の貯蔵庫」であるだけでなく、「知の創造」の場所として変貌しつつあります。入学したての学生達に対して、**アクティブラーニング**という「生涯にわたって学び続ける力、主体的に考える力を持つ人材教育の必要性」が叫ばれるようになり、その重要性を図書館も認識したのです。学修者の能動的な学修への参加を促すために、図書館のスペースを大きく改修して、話し合いのできる空間を1階と2階につくり上げました。数年前では考えられなかった「図書館の中でおしゃべり」という時代がはじまりました。**「サイエンスの集い」**と銘打った教職員・学生が一堂に会してくつろいだ雰囲気の中で議論できる企画も2014年度から開始し、アクティブラーニングのスペースで既に5回開催いたしました。第3期中期計画では、教育・研究・地域貢献等それぞれにはっきりと目標を立てて、**「知の創造の場所」**としての図書館の業務を打ち出しています。リポジトリとしての知の貯蔵庫が、知の創造のための場所として変貌する作業の一助を担えればと、図書館員一同と共に私も願っています。

ネットの時代、ほとんどのものが検索できます。大学教職員は知を貯蔵する者としての価値を失いました。少なくとも知を活用し、いかに活かせるかを示さなければならない時代になってしまいました。つまり大学人は、昔の人々が育んだ知を学び伝えるだけでは許されず、新たに知を創造し発信しなければなりません。機関リポジトリとアクティブラーニングを発展させ、発信する**“飛び出す”図書館**を夢見ています。その実現に、皆様のご協力をいただけますようお願いいたします。

京都大学

学習サポートデスクが設置されており、大学院生による図書館の利用方法の説明や学習相談が行われています。レポートの書き方講習会など、イベントも多数開かれているようです。



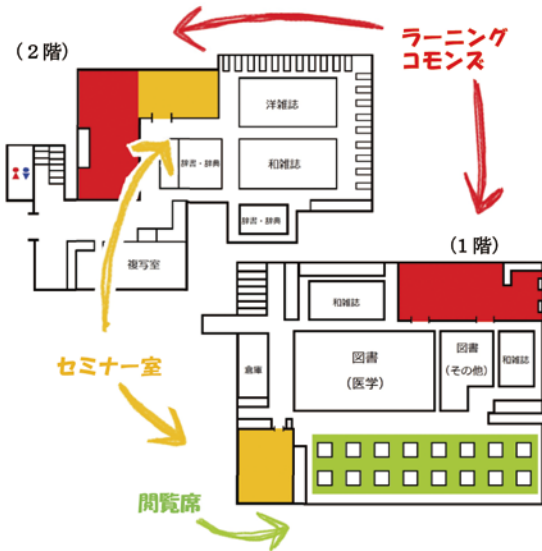
「Join us!一緒に議論しましょう」
知らない人とも議論を楽しめるような
案内が用意されていました!



● 館内の区分け

図書館再整備事業の完了により、自分の勉強スタイルに合わせて図書館を使い分け出来るようスペースが区分けされました。

グループで使える「ラーニング commons」の他にも、静かに一人で勉強できる「1階閲覧席」、研修会やゼミの発表に適した「セミナー室（予約可）」などのスペースがあります。



● 浜松医科大学学術機関リポジトリ



(<http://hikumano.hama-med.ac.jp/dspace/>)

浜松医科大学学術機関リポジトリ(以下:リポジトリ)は、浜松医科大学の研究・教育成果等をインターネット上で発信しています。

平成26年度には、学術雑誌『DOHaD 研究』や本学『40周年記念誌』もリポジトリに登録をしました。また、本学図書館で所蔵している『重訂古今方彙』もリポジトリにて閲覧可能となりました。古書であるため、閲覧のためには特別な手続きが必要ですが、リポジトリに登録したことでいつでも誰でも見ることができます。この機会に、一度リポジトリを試してみてください！

*重訂古今方彙:江戸時代ベストセラーになった漢方処方集。本学の蔵書は安永9年(1780年)刊です。



図書館 HP にリポジトリへのリンクがあります!

(<http://www.hama-med.ac.jp/toshokan.html>)

平成27年度浜松医科大学附属図書館開館予定表

※開館時間が変更となる場合がありますので、最新情報はHPでご確認ください。

□: 平日 9:00-20:00
 □: 土・日曜日 10:00-17:00
 □: 夏季休業期 9:00-17:00
 □: 休館日

4月							5月							6月							7月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4						1	2		1	2	3	4	5	6				1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					26	27	28	29	30	31		
							31																					
8月							9月							10月							11月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
						1			1	2	3	4	5					1	2	3		1	2	3	4	5	6	7
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	29	30						
30	31																											
12月							1月							2月							3月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5					1	2		1	2	3	4	5	6			1	2	3	4	5		
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	28	29						27	28	29	30	31			
							31																					